

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

8
2024

No.430



「うみ・なかまコミュニケーション」



特集

北海道の昆布2024
第34回 漁師さんの出前授業

北海道を代表する食のプロ
フェッショナルに、本道沿岸
で獲れる魚をテーマとした
コラムをご寄稿頂きます。

ぶり

北海道のお魚屋さんでぶりがこんな風に並んでいるなんて！ぶりを見ていつも思い出すのは、幼少期に母が年末にぶりを探し回っていたこと。岐阜県出身の母は大みそかには、何がなくてもぶりの照り焼きが必須でした。当時北海道では、ぶりは普通の家庭ではあまり食卓には上がっていないかと思えます。大晦日に父が仕事を終えて8時頃に帰宅するのに何とか間に合わせてお膳を用意します。我が家では大みそかにおせちはいいただきません。ぶりの照り焼きがごちそうです。師走に脂がのり、旨くなることから「鱒」の漢字に由来するともいわれ、脂が多いことから「あぶら」↓

「ぶり」↓「ぶり」と転訛したという説もあるくらい脂があつての美味しさです。私の中ではすっかり冬のイメージのぶりでしたが、北へ北上し始めの「走りぶり」の存在も気になるところです。先日、この「走りぶり」を狙って、千葉県から娘婿が釣り旅にやってきました。積丹の大波の中、午前便午後便通しで乗船し、竿を振り倒したそうです。その間我が家では大きなまな板とピカピカに研いだ包丁を用意し、冷蔵庫もすっきりさせて待機。ほどなくして満面の笑みを浮かべて戻ってきた彼が持ってきたのは60cmほどの肉厚なひらめ。「走りぶり」にはお目にかかれませんでした。大晦日並みの食卓となりました。あゝ、でもやっぱ

りぶりが食べたかったなあと小さく呟いてしまいました。これから秋に旬を迎える北海道のぶり。まずは思い出っばいの照り焼き、次に塩焼き。ぶりしゃぶ、アヒージョ、スパイスカレー、作りたい料理でわくわくしてきます。



坂下美樹
管理栄養士／調理師／製菓衛生師
現在、北海道新聞くらし面今日の1品執筆中。道新文化教室開催。H.T.B.イチャオシ出演中、ホクレンのS.M.M.Z等の料理制作など。料理教室はコロナ対策のうえ好評開催中。

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎよれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
August 2024 No.430

8
2024

- 01 **みきさんのおさかなコラム**
「ぶり」
- 02 **特集1**
北海道の昆布2024
- 06 **特集2**
第34回 漁師さんの出前授業
- 08 なみまるインフォメーション
- 10 **浜の家族物語**
福島吉岡漁協／澤田 寿生さん ご家族
- 11 頭すっきり!! ブレイクタイム
- 12 **大漁祈願!**
浜のほっとニュース
- 13 **みなさんのお便りでつくるページ**
なみまる おたより箱



道南・福島町の中でも南に位置する吉岡漁港。管内主要産業の養殖昆布漁には各々の斜路を利用することが多いため、いか釣りやまぐろ漁の船が主に利用しています。

表紙の写真
福島吉岡漁協／澤田 寿生さんご家族です

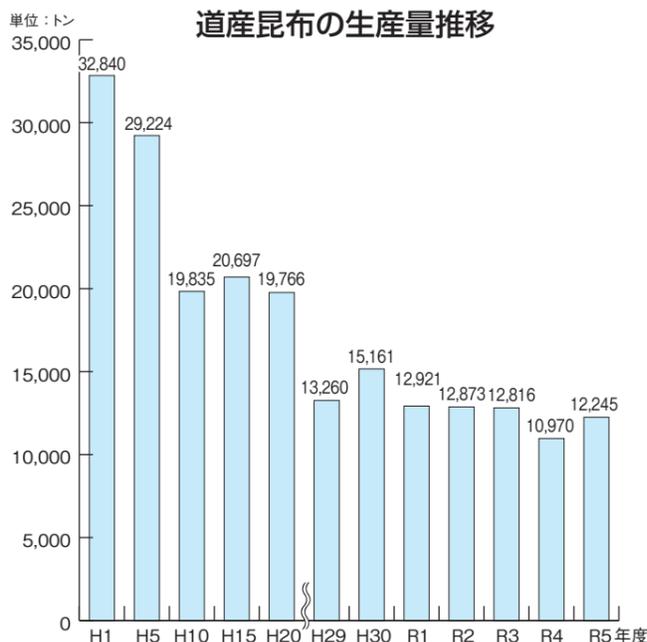
特集 北海道の昆布 2024



昆布の生産・消費量の回復に向け、各種施策に取り組んでいきます。

令和5年度の昆布生産量は12,000トン台に留まり、依然として低水準の生産が続いています。減産要因は天候不順、働き手不足など多岐にわたりますが、増産と安定した流通の整備が喫緊の課題となっています。

今回の特集は、全道の昆布生産見込みと、北海道昆布漁業振興協会とぎょれんが連携して取り組む増産対策や異物混入撲滅に向けた取り組みと食育・宣伝事業の内容についてご紹介します。



消流においては、コロナ禍で大きく低迷していた環境が回復傾向にあります。特に外食筋を中心とした、だし向け昆布の引き合いが強くなっており、加工向け昆布も引き続き堅調な荷動きが続いています。但し、生産量の低迷により、需給バランスが崩れ、マーケットの縮小も危惧されています。昆布漁業は地域の重要な基幹産業です。生産環境が大きく変わるなか、生産者の方々が安心して生産できるよう、引き続き漁業の持続化及び流通の安定を目指し、各種対策を実施してまいります。

共販部 島田部長に話を聞きました



共販部 島田部長

道産昆布生産見込み

単位：トン、()内は養殖であり内数。

年度 地区	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 見込み	前年 対比
小樽	0	0	1	—
桧山	2	1	2	—
函館	3,857 (3,512)	3,897 (3,572)	3,960 (3,560)	101.6%
室蘭	0	0	1	—
日高	2,441	2,438	2,010	82.4%
釧路	2,176 (3)	2,609 (4)	1,705	65.3%
根室	1,739 (87)	2,505 (53)	1,433 (25)	57.2%
北見	79	118	71	60.0%
稚内	675 (234)	674 (109)	626 (256)	92.9%
留萌	1	3	3	111.1%
道内合計	10,970 (3,836)	12,245 (3,738)	9,812 (3,841)	80.1%

全道の生産見込みについて

令和6年度の全道生産量は **9,812トンの見込み**

令和6年度は、6月末段階で9,812トンと統計開始以来、初めて1万トンを割り込む厳しい予想となっています。

地区別に見ますと、函館管内は冬場の時化被害が心配された養殖昆布が順調に生育しており、天然昆布と合わせて前年と大きく変わらぬ3,960トンの見込みです。

日高管内は、昨年の猛暑の影響から資源状況が芳しくなく、前年比の約8割となる2,010トンの見込みです。

釧路管内は、昨夏の高温、冬場の流水被害及び雑海藻繁殖を受け大減産となり、今年は過去最低の1,705トンの見込みです。

根室管内も釧路管内と同様の状況であり、羅臼は特に養殖が根腐れを起こし、流水による施設被害があったことから、管内全体では前年比約6割弱となる1,433トンとなっています。

北見管内も、流水の影響により令和4年度並みとなる71トンの見込みです。

稚内管内は、養殖の生産は順調なものの、天然の繁茂状態が悪く、管内全体では、前年比約1割弱減の626トンの見込みです。

生産・流通に関わる取り組み

生産対策①

「昆布ジーン(種)バンクプロジェクト」の実施



昆布種の保存 (北海道大学 四ツ倉教授研究室)

昨年より、北海道大学、北海道昆布漁業振興協会と連携し、昆布種の採取・保存を開始しました。昆布の未来を見据え、環境耐性等に優れた種子開発への足掛かりとなるものです。

今年度は、全道各地の漁協・生産者の方々に協力いただき、多くの地区及び銘柄の昆布種の採取を本格的に取り進めてまいります。

生産対策②

「生昆布製品事業」実施の継続

令和3年度より、厚岸、散布、浜中の3地区において、昆布採取後の乾燥及び選葉等、生産者作業の負担を軽減するため、生昆布の製品事業を実施しています。

水揚げ後、浜の工場での生昆布を素早く刻んで凍結し、本州にあるメーカーの工場へ仕出し加工



生昆布の佃煮製品

量販店等で販売され、好評を博しています。従来の佃煮とは異なる食感が特徴であり是非とも皆様にご賞味いただきたいと思っております。

異物混入防止対策の継続

過年度より、流通対策の一環として異物混入防止策を行っています。

生産者の方々が、細心の注意を払い、異物混入防止に対する意識が高まっていることで、異物混入は劇的に改善しています。しかし、現在でも様々な異物が混入するクレームは発生しています。

異物混入は重大な事故や信用問題に繋がります。昆布を安心安全に食してもらうためにも、引き続き皆様方にご協力をいただき、異物混入を無くしたいと考えています。

昨年は、啓発活動の一環として、作業用手袋を配布し、今年は、作業時の熱中症対策としてアイスネックリングを作成しています。

今一度、異物混入防止を認識していただき、これから本格化する作業に取り組んでいただきたいと思っております。

引き続き、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。



アイスネックリング

古くから日本食を支えてきた北海道昆布の必要性を幅広い世代へ伝えていきます

宣伝事業を担当する販売企画部 平野参事に話を聞きました。



販売企画部 平野参事

北海道昆布漁業振興協会では、道産昆布の消費定着・拡大に向け、生活スタイルに即したさまざまな施策を行ってきました。ターゲットに合わせて多様な媒体を活用し、消費者動向や社会情勢を見極めながら、「宣伝普及啓発活動・機能成分研究・食育活動」を実施し、消費喚起に向けた対策を行っています。

宣伝普及啓発活動

昆布バスを活用したPR施策

令和4年より、昆布の一大消費地である京都市内にて、オリジナル昆布ラッピングバスを施したバスの運行を行っています。バスは、車体のラッピングの他に、車内の座席シートの裏や、座席上部

のスペースに昆布広告を展開し、昆布バスのペーパークラフトも設置するなど、バス全体を活用し、昆布のPRを行っています。

今年度は、より昆布への興味・関心をもってもらうよう、小学生手作りの昆布PRポスターを募集する、「昆布ポスターコンクール」を実施する予定です。優秀作品については、昆布バス車内の広告スペースを活用し、通常運行するバスに展示します。

また、優秀作品に選ばれた親子については、「昆布バスツアー」に招待し、昆布の食育授業や料理体験を行い、更なる道産昆布のPRを図っていきます。



京都市内を運行する昆布ラッピングバスの車内(座席シートの昆布広告)

台湾での料理教室の実施

台湾国内のABCクッキングスタジオで昆布を含む道産水産物を使用したメニューレッスンを実施します。参加者へは中国語の昆布リーフレットを配布するなどし、道産昆布が多く輸出されている台湾国内で、道産水産物の魅力発信を行うこと

機能成分研究

大妻女子大学との共同研究

平成27年より継続的に実施している研究ですが、これまで22回のJCT試験を実施しています。2回目のJCT試験結果においても、

- ① 男性の軽度肥満において、体脂肪率・体脂肪量の低下に有効
- ② 昆布の長期摂取は、男女共に腸内細菌叢を改善する
- ③ 血圧低下傾向が認められた
- ④ 12週間の昆布継続摂取による、甲状腺ホルモンの濃度に影響はない

という有効な結果が得られ、日経ヘルスでも取り上げられた他、NHKのあさイチでも「ベジファーストより海藻ファースト!知られざる海藻の世界」をテーマにした特集が放送されました。

今年度は、上記結果を学術的にまとめ、論文発表を行い、マスコミや栄養士等の関係者へ周知を図っていく、昆布の消費喚起に繋がっていきます。

成長科学協会との昆布摂取によるヨウ素の影響調査

これまで、2025年度の食事摂取基準改訂に向けて、上限撤廃を目標に研究を行ってきました。現時点では、上限撤廃には至っていないものの、小児の耐用上限量が引き上げられるなど、一定の成果を上げることができました。

日本人のヨウ素の摂取については、そのほとんどが昆布などの海藻類や海藻出汁と言われている

り、中でも小学校給食献立の中で、ヨウ素摂取源となる食材は、海藻・海藻出汁でヨウ素量全体の7~8割を占めています。

日本人が昆布を食べなくなった時が、日本のヨウ素欠乏症の始まりであると懸念されており、昆布の消費量の低下は大きな問題となっています。限られた資源の中で、昆布(ヨウ素)の安全性と必要性の科学的根拠を示すことを目的に、昆布そのものに含まれるヨウ素に焦点を当て、安全性・必要性を検証する研究を実施していきます。

食育活動

昆布の食育活動は、協議会発足当時よりさまざまな世代に対し、継続的に実施してきました。

子供の味覚を育てるにあたり、「昆布・出汁」が重要な役割を担っており、昆布の消費を未来へ繋げるためにも、食育は今後も継続した取り組みが欠かせません。

今年度も、幼児から小・中・高・大・一般消費者まで、幅広い世代に日本の「食」における昆布の重要性を感じてもらおうと、世代に合った食育活動を行っています。

また、北海道こんぶキャラクターの「こんぶらこ」の、着ぐるみを活用し、より昆布への親しみを持ってもらうよう、各食育イベントへも参加していくと共に小学生向けには、タブレットを活用した副教材を活用し、授業カリキュラムに沿った全国規模での利用促進を図っていきます。高校・専門学校に向けた食育講座も継続実施します。一方、北海道コンサドーレ札幌と共同で開催す

もに実食機会を創出し、現地での消費訴求を図っていきます。

北海道の翼AIRDOでの昆布PR

過年度より継続実施しているAIRDO機内で、道産昆布のPRを本年も実施します。

北海道の翼であるAIRDOにて、オリジナル紙コップで昆布スープを提供・販売することで、「北海道II昆布」の印象付けをし、実際に機内で「見て・食す」ことで、昆布の旨味・だしの魅力を訴求していきます。

昆布プロモーション動画の制作

今後も継続的に昆布PR活動を実施していくにあたり、生産現場を消費者へ伝える為の各種画像・素材の撮影を行い、道産昆布のプロモーション動画を制作する予定です。また、昨年度制作した昆布パネル「昆布に懸ける、昆布を愛する」をテーマに、北海道の昆布の価値や必要性を伝え、消費へと繋げるツールとして使用していきます。



「こんぶのスープ」が好評です

る食育講座についても引き続き実施していきます。



今後も食育活動を継続します

Instagram始めました



6月より、ぎょれん公式Instagramが始めました。ぜひ下記QRコードからフォローお願いします



第34回 漁師さんの出前授業



教えて漁師さん!北海道の漁業と漁師のお仕事

6月4日(火)、札幌市立札幌小学校において、3時間目・4時間目の時間、5年生34名を対象に北海道漁協青年部連絡協議会(道漁青連)ときよれんが共催して開催している「漁師さんの出前授業」が行われました。平成17年より始まった本取組は今回で34回目。普段、漁業に接する機会の少ない札幌の子どもたちに、道産水産物の魅力や漁師という職業を身近に感じてもらう、将来的な需要の拡大や漁業後継者の育成を図っています。

3時間目 漁師のお仕事や北海道の漁業

今回、講師を務めたのは根室地区漁青連会長の鈴木志志さんと宗谷地区漁青連会長の伊藤大智さん。お二人は初めに自己紹介をしながら、鈴木さんからは鮭の定置網漁を、伊藤さんからほたての桁びき網漁について、動画や模型を使いながら生徒たちにも分かりやすく伝えると、続いて、道漁青連が創立60周年を記念して制作した動画「おいしいおさかなと漁師さんのきもち」を見てもらいながら、北海道の漁業全般についての概要や若手漁師が漁業に抱く想いなども学んでもらいました。

そして、ぎよれんの鶴巻職員からは、道内で水揚げされる主な魚種・漁法・漁具の特徴、網目の調整や禁漁期間の設定、稚魚や種苗の放流といった資源を



鮭定置網の模型を使って生徒たちに動画を解説

守るために漁師さんが行っている取組、魚の栄養などを紹介。元気な生徒たちは、休み時間になっても展示していた漁具やほたての貝殻に興味津々で実際に手に取って感触を楽しんでいました。

授業を担当した漁師さんをご紹介します



道漁青連根室地区会長
(別海漁協)
鈴木 志志さん

【プロフィール】

高校卒業後から鮭定置網漁に従事。

☆好きな料理：焼き鳥

☆特技：野球



道漁青連宗谷地区会長
(猿払村漁協)
伊藤 大智さん

【プロフィール】

高校卒業後からほたて漁に従事。

☆好きな料理：ほたてフライ

☆特技：野球

4時間目 漁師さんのスコ技とクイズで勉強

休み時間を挟んで4時間目の時間で、参加生徒を2グループに分けて、鈴木さんが網の修繕作業を、伊藤さんがロープワークを担当して生徒たちに披露しました。鈴木さんは、「普段の漁で使っている網が流木やアザラシなどにより穴が空いたり、破けたりすることがあって、その度に自分たちで直して使っているんだよ」と説明したうえで、生徒にハサミで網を切つて穴をあけてもらうと、いとも簡単に元の網に直していききました。一方、伊藤さんは教室の手すりに漁業用のロープを結わえると、生徒たちに力いっぱい引っ張ってもらっても全然ほどけないのに「魔法みたい」に一瞬で解ける様子を紹介。生徒たちは二人の漁師の目にも鮮やかな技を見て、とても驚いた様子で大きな歓声をあげていました。

その後に行われたお魚クイズでは、正解が発表される度に生徒たちは一喜一憂。最後に設けられた質問タイムでは授業終了の時間になっても拳手は取まらず、「筋トレとかしているのですか?」「年収はどのくらいですか?」など様々な質問が続くほど、生徒たちは北海道の漁業や漁師の仕事について、強い関心を持ってくれたようでした。



手早く2本の解いたロープを結わえていく伊藤さん



生徒たちは網を直す鈴木さんの手に興味津々

道漁青連 令和6年度 第1回地区会長会議を開催

5月18日(土)、札幌の第一水産ビルにおいて道漁青連の令和6年度 第1回地区会長会議が開催され、令和5年度業務報告、令和6年度事業計画並びに収支予算案、第62回全道漁協青年部大会の開催について、青年部勉強会について、任期満了に伴う役員改選などが協議・承認されました。今年度以降は、新体制のもと、一層の活動推進を図ります。



前列左より山崎監事、小笠原副会長、尾崎会長、山森副会長、伊藤監事。後列左より工藤優介理事(桧山地区)、山本章雄理事(渡島地区)、本間庸高理事(胆振地区)、鈴木志志理事(根室地区)

※築山享平理事(日高地区)は都合により欠席

新役員

- 会長 尾崎 勇太(北見地区)
- 副会長 小笠原宏一(留萌地区)
- 山森 昂(小樽地区)
- 監事 山崎 賢治(釧勝地区)
- 伊藤 大智(宗谷地区)

令和6年度「全道なみまるクリーンアップ作戦」 第2回・渡島地区、第3回・日高地区で 清掃活動を実施しました

04

ぎょれんの環境基本理念・環境方針に基づく海洋プラスチックごみ問題に対する具体的な取組として令和3年度より始まった全道なみまるクリーンアップ作戦。道内を10地区に分け、1年間に5地区の清掃を実施する活動で、5月の稚内地区に続き、6月8日(土)に渡島地区の鹿部漁協・本別漁港とその周辺、6月20日(木)には日高地区のえりも漁協・えりも岬事業所を中心に実施されました。

今年度2回目となった渡島地区の活動では、鹿部漁協の組合員や役員、女性部員をはじめ、地元の行政関係やぎょれん職員も合わせ総勢約50名が清掃活動に汗を流しました。今回実施した地区では、2時間の作業で約1.7トンのごみを回収しましたが、中でも廃プラスチックやペットボトルが多くみられました。

また、3回目となった日高地区の活動では、約100名もの大人数が集まり、1時間半の清掃活動でおよそ1.8トンのごみを回収。重量物のロープや網などの漁業系廃棄物も多く、漁港清掃特有の傾向がみられました。



渡島地区は鹿部漁協と共同で実施しました



日高地区はえりも漁協と共同で実施しました

ステージイベントに「ホタテリオ」が登場! 「FUN MORE 創成EAST」に キッチンカー「豊漁食堂」を出店しました

05

6月29日(土)・30日(日)の2日間、「道新創成イーストプロジェクト FUN MORE 創成EAST」(北海道新聞社主催)に協賛し、ぎょれんブランドである「豊漁食堂」をテーマに装飾を施したキッチンカーを出店しました。

同イベントは、「創成イースト」と呼ばれる札幌市の中心部を南北に流れる創成川より東側エリアを中心に、道産食材の普及活動や地区の歴史や文化を学ぶ場として開催されたもので、ぎょれんでは「サッポロガーデンパーク会場(サッポロビール園駐車場)」にキッチンカーを出店し、「照り焼きホタテ串」、「秋鮭ザンギ」、「魚介のフライ3種盛」といった道産秋鮭・ほたてなどを使用したメニューを提供しました。

また、30日(日)にはアリオ札幌のイベント会場においてホタテリオが登場し、道産ほたてに関する紙芝居やほたてグッズが当たるじゃんけん大会、ホタテリオとの写真撮影会も行われ、訪れた子連れの買い物客を中心に大いに盛り上がりました。



大変暑いなか、多くの方にオリジナルメニューをご購入いただきました



「ホタテリオ」とのじゃんけん大会は子どもに大人気

第62回北海道漁協組合長会議に係る決議実行要請を実施 全会一致で採択された4項目の確実なる実行を 国及び道に強く訴えました

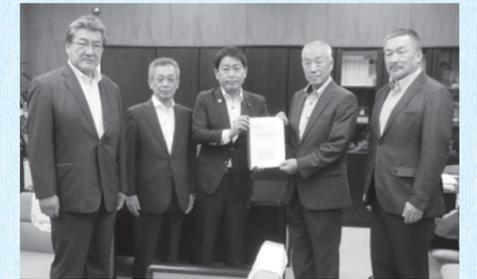
01

6月13日(木)に開催された第62回北海道漁協組合長会議の決議に基づき、在札系統団体長、地区漁協組合長会会長、在札系統団体常勤役員で構成する要請団は、第1号「福島第一原発アルプス処理水による漁業被害への対策」、第2号「持続的漁業のための資源管理・資源増大対策」、第3号「漁業経営基盤の安定・強化のための対策」、第4号「本道の漁場環境を保全する対策」の各決議項目の実現へ向け、6月14日(金)から18日(火)にかけて、道・中央要請を実施しました。

特に中央に対しては、農水省、関係国会議員のほか、前年に続き経済産業省を訪問し、昨年来措置されたアルプス処理水に係る対策の継続と確実な実施を強く要望しました。これからも引き続き、決議事項に関する施策が実現するよう、全道漁協系統をあげて取り組んでいきます。



鈴木知事並びに道水産林務部の幹部への要請



武村農林水産副大臣へ要請書を手渡しました



岩田経済産業副大臣へ要請書を手渡しました

全国豊かな海づくり大会北海道大会の機運を引き継ぎ将来へ 北海道の豊かな海づくりに向けた大会開催を道・道議会へ要請

02

昨年9月、厚岸町及び釧路市で天皇皇后両陛下ご臨席のもと開催された「第42回 全国豊かな海づくり大会 北海道大会」において、「豊かな海を将来に亘って引き継いでいく」ことが決議されましたが、これを一過性のものとして終わらせず、北海道独自の大会を開催するとともに、道が中心となり「豊かな海づくり」の取組を推進するよう、6月14日(金)、在札系統団体などが連名で道・道議会に対して要請を実施しました。この要請に対して、道も開催に強く賛同し、今後は互いに連携して、多くの道民を巻き込んだ全道的な取組となるよう協議を進めていく旨の回答が示されました。



道議会を代表して富原議長へ要請書を手渡しました

なまこの悪質な密漁防止へ一斉パトロール 小樽地区で地域が一体となって防止対策に取り組みました

03

6月25日(火)、26日(水)の2日間にわたり、寿都町・蘭越町管内、神恵内村管内において同地区でのなまこの密漁防止対策の一環として、関係漁協や小樽地区及び北海道密漁防止対策協議会、小樽海上保安部、現地警察などが参加した夜間合同一斉パトロールが実施されました。

同地区では日頃から漁協や漁業者が自主的にパトロールを実施し、また各関係機関でも適宜夜間の巡回や監視が行われておりますが、依然としてなまこなどを狙った悪質な組織的密漁が多発しており、パトロールを通じて地域や関係機関が一体となって密漁防止対策に取り組む強い姿勢を示し、当該地区はもとより沿岸域での組織的密漁の抑止を図ることを目的に実施されております。

北海道密漁防止対策協議会では、今後も関係機関と連携し、密漁防止対策のさらなる強化に取り組んでいきます。



6月26日は神恵内村の道の駅に集合し、パトロールを実施

シークワードクイズ
8月のテーマ
「世界の国」

リ	ン	カ	ン	ラ	リ	ス
ア	マ	ー	ト	ア	ン	ロ
リ	ン	ビ	マ	ピ	ス	プ
エ	ア	ゴ	リ	オ	マ	キ
ジ	ス	イ	ラ	チ	ライ	
イ	フ	ト	ー	エ	ウ	ク
ナ	モ	ロ	ツ	コ	イ	ス

8月は「世界の国」がテーマです。パリオリンピック2024が開催中です。200を超える国・地域等から1万人以上の選手が参加しています。図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- アンゴラ
- エチオピア
- オマーン
- キプロス
- クウェート
- スリランカ
- チェコ
- ナイジェリア
- フィリピン
- マラウイ
- マリ
- モロッコ
- ラオス
- ラトビア
- リマ

〈ヒント〉永世中立国でアルプスの少女と言えば?!

どれにも使用しなかった文字をうまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

シ	ク	キ	シ	ザ	ン	サ	7月号の解答と当選者 シャクヤク (神 恵 内 村) ぼ ス さん (浦 河 町) 島 山 京 子 さん (根 室 市) K . W さん (根 室 市) す ー さん (利 尻 富 士 町) S ・ K さん
ナ	バ	ジ	キ	コ	ク	ヤ	
ツ	バ	サ	ウ	ヨ	フ	ワ	
ク	サ	ン	シ	ヨ	ウ	シ	
ゲ	メ	ラ	ガ	シ	チ	ナ	
ウ	ツ	フ	ソ	ヒ	ヤ	チ	
ク	ナ	サ	ジ	モ	ロ	ク	

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえたと答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ	リスト <input type="checkbox"/> アキアジ <input type="checkbox"/> コマイ <input type="checkbox"/> プリ <input type="checkbox"/> サンマ <input type="checkbox"/> コンプ <input type="checkbox"/> アサリ	ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ		キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ		ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ		ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる箇所があります。さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 家族 浜の物語



【澤田さんご一家】澤田 寿生さん(42歳)、紗織さん(40歳)、結心ちゃん(6歳)、結生ちゃん(4歳)、結葵ちゃん(2歳)

※写真は寿生さんの父 満さん、母 清子さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。今回は、福島吉岡漁協の澤田さんご一家です。

地元の昆布を広めて地域の活性化に

水産関係の会社から漁師へ

お爺様からの漁師の家系で、現在3代目となる寿生さん。漁師になったのは、今から11年前の31歳のときです。当時は妹2人の3人兄弟ということもあり、「いつか漁師を継ぐことになるだろう」と考えながらも、地元の商業高校卒業後は、簿記の専門学校へと進み、経理や税務について学びました。そして、専門学校を卒業すると札幌の水産関係の会社に就職します。専門学校での経験を活かして、経理の仕事を担当していましたが、ある時、体調を崩して静養を余儀なくされたことをきっかけに、働いていた職場を退職。その後、体調が回復し、別の会社に就職もしたのですが、再度体調を崩してしまったこともあり、地元に戻ることを決意。体調の回復を待って漁師となりました。現在では体調はすっかり良くなり、年間を通じての昆布漁を主に、春から秋に掛けてはうに漁、冬はあわび、なまこといった磯廻りの漁業にも着業、昨年には吉岡地区の青年部部長に就任しました。

奥様の紗織さんとの出会いは、7年ほど前、紗織さんのいとこの紹介ということですが、何とそのいとこの方の旦那さんが寿生さんと同じ浜の漁師仲間！お二人は出会ってすぐに互いの性格に惹かれ、1年経たずに結婚。その後、結心ちゃん、結生ちゃん、結葵ちゃんと3人の娘さんが誕生し、結心ちゃんは将来アイドルをしながらお花屋さん、結生ちゃんはアイス屋さんになるのが夢だそう。そして末っ子の結葵ちゃんは、「パウパトロール」という海外アニメが大好きという仲良し姉妹。そんな子育てが中心の日々慌ただしい生活にあっても、紗織さんは「子育ても漁業もお父さん、お母さん、おばあちゃんが近くで力を貸してくれているから、やっていけてます」とのこと。

最後に寿生さんに将来の目標を伺うと「この地区は特に昆布に生活を左右される漁師が多いので、地元の昆布が全国に広まって地域全体が活性化するようになってもらいたい。そのためにも養殖昆布の種となる天然の藻場を守り育てながら、これからも安定した生産を行えるように青年部のみんなと頑張っていきたい」と教えてくれました。



おひんず

第3回 みんな知ってる?秋鮭クイズ

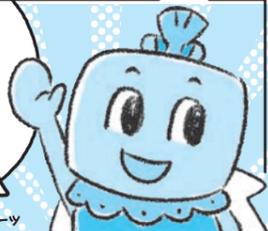
突然がクイズです!



秋鮭のオスとメスを区別するのはどこでしょう?



ハイ! 服です!



答えは 尾ビレです!



みんな知ってるかな?

いつもクイズと間違え探しを家族で楽しんでます。なかなかやりごたえあります。これからも楽しみにしていきます。

(根室市 K.Wさん 70歳)

7月15日から昆布漁が始まるけど天気はどうなのかな?

(利尻富士町 S.Kさん 74歳)

市場の屋根にカモメのヒナがたくさんいました。かわいー!

(根室市 すーちゃん)



news 浜のほつとニュース

小樽

6月下旬からぶりが後志南部を中心に水揚げされています。昨年度は、1尾7~8キロ台が多く見られましたが、今年度は、サイズが小さく1尾5~6キロ台が中心となっています。一方、いか釣漁については、水揚げ数量は昨年より低調に推移しています。サイズも40入やバラなどの小型が主体となっています。今後の豊漁とサイズアップに期待しています。

室蘭

6月から毛がに籠漁が行われています。噴火湾内は7月12日をもって終漁となりました。7月10日より室蘭から鶴川までの太平洋側で漁期開始となり、昨年度に比べ浜値は高値で推移しています。一方、ほっき漁の解禁やうに漁の最盛期到来もあり、浜は活気に溢れています。今後の豊漁を願うとともに、生産者の皆様の安全操業を心より祈願しています。

根室

7月18日から「なが昆布」の出漁初日となり、干場では昆布を積んだトラックが到着後、一斉に手慣れた作業で干し作業を開始しています。根室特産の花咲がには7月11日朝に初水揚げがありました。初日の出漁船が少なかったことから、水揚げ量は前年より下回りましたが、単価は高値で取引されました。浜ではいわしや花咲がにの水揚げが始まり、これからはさんまの水揚げが予定されています。皆様の安全操業と大漁を祈願しています。

留萌

夏を代表する魚種であるうに、なまこ漁が本格化し、たこの水揚げも最盛期を迎えています。7月上旬は時化の日が多く、やや低調な水揚げとなっていましたが、徐々に水揚げも増えてきています。7月下旬からは、ほたて稚貝の仮分散も始まりますが、作業が順調に進むことを期待しています。夏本番を迎え、暑い日が続きますが、皆様の安全操業と豊漁を祈願しています。

函館

6月20日から解禁となった噴火湾地区の毛がに籠漁が7月12日で終漁となりました。漁期中は時化が少なく順調な水揚げとなりました。一方、7月に入り促成真昆布の生産が本格化しており、海岸沿いの町並みは昆布一色に彩られています。第1回昆布入札会は前年を上回る高値がついています。今期も順調に販売されていくことを期待しています。

釧路

棹前昆布漁が終了し、7月から成昆布漁が始まりました。前半は模様が悪く、出漁できない日々が続きましたが、今後は天候に恵まれ豊漁となることを期待しています。春定置網漁は終盤を迎えていますが、不漁であった昨年と比べ、時鮭は約2倍、青鱒は約7倍の水揚げとなっています。棒受・旋網でいわしの水揚げが続いていますが、小型傾向にあります。引き続きの安全操業を祈念しています。

稚内

7月より天然昆布漁が解禁し、好天に恵まれた日は干場に昆布が並んでいます。利礼地区では、6月中頃から始まった養殖昆布漁の水揚げが各地区終盤へ向かっており、乾燥した昆布の選葉作業が行われています。オホーツク地区では、7月下旬頃から小定置漁が始まり、鮭や鱒が水揚げされ始めます。秋の盛漁期が近づいてきたなか、今後も安全操業で豊漁となることを祈願しています。

梶山

7月6日~7日の期間、「江差かもめ島まつり」が開催されました。祭りは豊漁と漁の安全を祈願して、海の守り神とされる高さ10メートルの「瓶子岩」に重さ500キロの大しめ縄の取り付けから始まり、その勇壮な情景は多くの来場者を魅了しました。一方、奥尻島では7月中旬から、きたむらさきうにの水揚げが開始され、高単価でのスタートとなりました。今後、順調に水揚げが続く、秋漁に向けて浜が益々活気づくことを願っています。

日高

今年度の春定置網漁は、青鱒が豊漁であったことから、鮭鱒類の水揚げ量が昨年の約1.6倍と順調に推移しました。また、宗八は昨年の4割程と大きく減産したものの、ぶり、さば等は昨年を上回る水揚げとなりました。一方、6月末から、昆布漁が順次解禁となり、7月22日現在、累計採取日数は昨年を下回る75日となっています。今年度は、減産予想となっていますが、天候に恵まれ1日でも多く採取できることを願っています。

北見

オホーツク地区でも連日暑い日が続いています。ほたて漁は日々操業しており、水揚げが期待されています。一方、先月はサロマ湖での北海しまえび漁が7年ぶりに再開されましたが、今月からは、ほっき漁が解禁されるため、浜は益々活気がみなぎることでしょう。今後、夏漁から秋漁へと移り、1年で最も賑わう時期を迎えます。引き続き、安全操業と、より一層の豊漁を心より祈願いたします。

サロマ湖では、養殖ホタテの水揚げが始まりました。久しぶりにシマエビも解禁されて、食べるのが楽しみだと思っていました。キロー万と。ホタテの方が安いなんて何だか不思議ですね。

(北見市 大分よりの使者さん 23歳)

海に見えるキャンプ場で働いています。休憩時間は海に船があれば双眼鏡で漁師さんの仕事を眺めます。日に日に暑さが増してきたのでお互い身体に気をつけて頑張っていきたいと思っております。

(神恵内村 ボスさん 75歳)

おさかなコラムの感想 日高昆布をほめてもらいありがたい。我が家でも毎日料理に使っています。

(浦河町 島山京子さん 94歳)

早くも7月に...もう既に暑い...ホタテの子ガイ...大丈夫かなあ?熱中症にならないように気を付けなきゃ。

(八雲町 Y.D.Kさん)

夜空に花火が美しい季節になりました。最近ではドローンを使ったものなど花火も次から次へと進化しているようです。令和6年度の「全道なみまるクレーンアップ作戦」も第3回目を終了しました。海洋プラスチックごみ問題に対する具体的な取組として毎回、大量のごみを回収していますが、花火の映えるきれいな海を維持するためにも清掃活動を継続実施しています。

(藤江)

皆様からの「お便り、写真、イラスト」をお待ちしています!

次の①②③を明記の上、応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ① なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん8月号への感想(ご意見など)(※150字程度まで)
- ② 11ページのシークワートの答え
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

8月23日までにお送りください。

(郵便)

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 総務企画部 広報担当
(FAX) 011-242-1354
(電子メール) info@gyoren.or.jp

11ページの間違えがしの答え

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介いたします。ご応募いただいた方の個人情報(図書カード、進呈やお便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

衝突事故は 的確な見張りで 防ぎます

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター



昆布と豚肉の炊き込みごはん

簡単！すぐできる！
昆布や野菜の旨みがごはんに
染み込んだいくらでも食べられる
おしこの一品です。



作り方

材料

4人分

米	カップ2
刻み昆布	40g
薄切り豚ばら肉	120g
小揚げ	1枚
にんじん	1/2本
たけのこ	1/2個
しょうが	1片
ごぼう	1/2本

A

醤油	大さじ2
酒	大さじ2
塩	小さじ1
水	カップ2

- ① 米は洗ってザルにあげておく。
- ② 刻み昆布は水で戻しておく。
- ③ 豚肉、小揚げ、にんじん、たけのこ、しょうがは千切り、ごぼうは細かいさがきにして、水にさらしておく。
- ④ 炊飯器に①とAを入れて混ぜ、②と③を加えて炊き上がったら出来上がり。



浜のお母さん
レシピ

番外編



北の魚情報がぎっしり!北海道ぎょれんウェブサイト
www.gyoren.or.jp



環境に未来につなぐ北の森
本書の本文用紙は原料の一部に
道産間伐材を使用しております。